

この度は、水化学部会講演賞という大変光栄な賞に選出して頂き、誠にありがとうございます。本発表は、福島第一原子力発電所炉内における Cs 分布評価に資する長期的な Cs 溶出挙動に関する研究であります。最近の研究で、シビアアクシデント時に炉内構造材と Cs との高温化学反応により、過去の知見とは異なる化学形の Cs が生成している可能性が示されております。本研究ではそれらの Cs 化合物 (Cs 化学吸着生成物) の水溶性について検討しております。この成果はシビアアクシデント時の FP 化学挙動の高度化にも資するものであると期待しております。

私は 2017 年に日本原子力研究開発機構に入所して以来、福島第一原子力発電所の廃炉に関する研究開発を行ってきました。その中で、本発表に関する研究を始めて 3 年経ち、徐々に成果が出てきていることに喜びを感じております。私自身、未だ知識不足ではございますが、本研究の継続や FP 挙動研究専門委員会等の活動を通して微力ながら水化学分野に貢献できるように精進致しますので、今後も何卒よろしくお願い申し上げます。

日本原子力研究開発機構 井元 純平